

テーマ
食文化
対象 6年
社会科 4月

縄文時代に タイムスリップ！



ねらい

- 縄文土器から、縄文時代の人々の暮らしについて想像し、調べる。
- 縄文土器による食生活の変化について考える。

展 開

主な学習活動

□指導・支援 ☆評価 ◇資料

- 1 世界で初めてスープを作ったのはどこか予想する。
 - ・寒い地域 …スープを食べて温まることができるから
 - ・ヨーロッパ…食事にこだわりがありそうだから
 - ・中国…様々なものが、大陸から伝わってきたから
- 2 日本では、最も古い土器が発見され、食材の煮炊きに使われていたことを知る。

- なぜそう考えたのか、理由も発表させる。
- 最も古い土器が、日本で発見されているため、煮炊きを初めて試みたのは日本だと考えられることを伝える。

当時の人々は縄文土器をどのように使ったのかな

- 3 縄文土器を見て、気付いたことを発表する。
 - ・模様が付いている。
 - ・底が丸いから、置けない。
- 4 縄文土器をどのようにして、使っていたか想像する。
 - ・土に埋めて火にかけた。
 - ・周りに石や木で支え、竈のようにして火にかけた。
 - ・手で持って行って、水をくんだ。
 - ・木の実や貝を拾ってきて、入れ物にした。
- 5 教科書や資料をもとに、縄文土器について調べる。
- 6 縄文土器が使われることで、人々の食生活は、どのように変化したか、ノートにまとめ発表する。
 - ・焼いたり、煮たり、様々な調理ができるようになった。
 - ・安全に食べられるものが増えた。
 - ・保存することできるようになった。

- ◇縄文土器レプリカ
- 縄文土器の形から当時の暮らしを想像し、予想をもとに縄文土器について調べている。
- 煮炊きの場面が考えられたら、他にも使われ方があったことを知り、予想させる。
- ☆縄文土器による食生活の変化について考え、根拠をもとにノートに書いている。＜食育＞
- 後日、埋蔵文化財センターに見学に行くことを伝える。